

1 主題名 頑張る心 【A - (5) 希望と勇気、努力と強い意志】

2 教材名 うかんだうかんだ

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目 A - (5) は、「自分やるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと」をねらいとしている。1 学年の発達段階においては、何事にも目を向け、好奇心をもって行おうとしたり、興味・関心のあることについては、意欲的に取り組もうとしたりしている。しかし、その一方で、自分の好き嫌いで物事を判断したり、つらいことや苦しいこと、できないことがあると、すぐにくじけてしまう傾向がある。

そこで、自分のやるべき仕事や勉強にはどのようなものがあるか考え、しっかりと行うことの意義を自覚し、やり遂げたときの喜びや達成感を味わうことで、努力した自分に気付く、一生懸命に努力する態度を養うことができると考え、この主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、好奇心旺盛で、新しいことにチャレンジしようとする児童が多い。入学してから3ヶ月弱、係や給食当番、日直等の仕事、ひらがなやたし算の学習等、初めてのことにも自分から進んで取り組もうとする姿勢が多く見られるようになった。練習を重ねることで、ひらがなを整った形で書くことができるようになったり、体力テストで記録を伸ばすことができたりしたことが、喜びと同時に大きな自信となった児童もいた。その反面、自分のやりたい仕事だけを行ったり、苦しいことや面倒なことから逃げたりする児童もいる。また、困難に直面すると「できない」「やりたくない」と放り出してしまったり、泣いてすぐに「どうやるの」と助けを求めたりする傾向も見られる。そこで本時では、自分の目標に向かって、粘り強く、一生懸命努力しようとする心情を育てたい。

(3) 教材について <教材名「うかんだうかんだ」、「新しい道徳」東京書籍>

本教材は、プールでもぐることができなかつた主人公が、悔しい気持ちになったことから、家で洗面器の水に顔をつける練習やお風呂でもぐり練習を続け乗り越える姿を描いている。プールの時間にもぐったり浮かんだりすることができるように努力をする主人公のように、本学級の児童にも、一人一人できるようになりたいことや頑張っていることがある。その思いを自覚できるような場を設け、目標をもってすることに気付かせたい。また、友達にできるようになったことや頑張っていることを認めてもらうことで、喜びや達成感を味わい、頑張ろうとする意欲を高め、ねらいへとつなげていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

できるようになりたいことや頑張りたいこと等、自分の目標に向かって努力しようとする態度を育てる。

(2) 準備・資料

・場面絵 ・タブレット ・プロジェクター ・スクリーン ・ワークシート ・パソコン

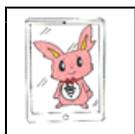
(3) 展開

主な活動と発問	予想される児童の反応	指導上に留意点 個への配慮 (評) 評価 タブレット
1 事前アンケートの結果を見て、学習課題について話し合う。 できるようになりたいことがあったとき、どうしていますか。 できないことがあったら、どうしますか。	・僕・私と一緒にだ。 ・あれ、僕もできるようになりたい。 ・私も頑張っていてできるようになったよ。 泣いたよ。	事前アンケートの結果をスクリーンに提示することで、本時の内容への導入を図り、「できるようになりたいこと」への意識付けをする。
2 教材「うかんだうかんだ」を読んで、気持ちを考える。 ぼくは、どうして顔をつける練習を始めたのでしょうか。	・もぐれなくて悔しいから。 ・もぐれるようになりたいから。 ・できないままは嫌だから。 ・できないと、プールの時間が楽しくなくなってしまった。	・場面絵を掲示し、話の内容をつかめるようにする。また、場面絵の高低で、主人公の気持ちの移り変わりを視覚化していく。 ・教材文を全文まとめて読むの

ぼくは、どんな気持ちで毎日練習を続けたと思いますか。

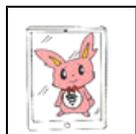
うかぶことができたぼくは、どんな気持ちになりましたか。

ぼくはがんばってよかったと思ったかを考え、ポジショニングする。



- ・はい
- ・いいえ

3 自分の生活を振り返る。  
(1) うまくできないときの行動を考え、投票する。



- ・最後まで頑張る
- ・頑張るけれどできないときにはやめるかも
- ・始めから諦める

(2) 今日の学習の中で、自分が考えたことや大切だと思ったこと等、ワークシートに記入する。

- から。
- ・できるようにになりたいから。
- ・練習すればできるようになるから。
- ・少しずつできるようになってきたから。
- ・お母さんに褒められて嬉しかったから。
- ・できて嬉しい。
- ・拍手をしてもらえてとても嬉しい。
- ・練習できてよかった。
- ・練習すればできるようになるんだ。
- ・できるようになると気持ちがいいな。

- ・頑張ったから、よかったと思ったと思う。
- ・みんなに褒められてよかったと思ったと思う。
- ・毎日大変だったから、よかったと思ってなかったと思う。

- ・僕は頑張りたい。でも、あまりできないと諦めてしまおうかもしれない。
- ・私は、できるように最後まで頑張る。
- ・できないことは、やりたくない。

- ・頑張ることは大切だと思った。
- ・諦めないことが大切だと思った。
- ・頑張って、できることを増やしていきたいと思った。
- ・やればできると思った。

ではなく、場面毎に区切って児童へ提示し、登場人物の気持ちを考えるようにする。

- ・主人公の気持ちに寄り添えるよう、自分の経験から気持ちを考えたり、努力することの価値に気付いたりできるよう助言する。

気持ちを考えることが苦手な児童には、個別に声を掛け、自分のことを想起させることで、主人公の気持ちを考えやすいように支援する。

- ・自分の考えをワークシートに書くことで、友達の意見との比較がしやすいようにする。文字を書くことが困難な児童には、気持ちが書いてあるシートを渡し、丸を付けて気持ちを表せるように支援する。タブレットでスクリーンメニューのポジショニングを使って投票し、意見を視覚化する。

- ・これからどうしていきたいか考えることで、自分の思いを明確にする。

考えが思い付かない児童には、友達の意見を聞き、同調や共感できる意見をもとに、自分の考えを書くように助言する。文字を書くことが難しい児童には、考えが書いてあるシートを渡し、同調や共感できる意見に丸を付け、自分の考えを表現できるようにする。

(評) できるようにになりたいこと等、自分の目標に向かって頑張りたいという気持ちをもっている。  
(ワークシート・発表)

## 5 関連・発展

今後も、生活や学習活動などの様々な場面を通して、児童がお互いに頑張っていることやできるようになったことを称賛し合い、達成感を味わうことで、目標に向かって頑張る自分に気付くよう指導していきたい。また、友達の頑張っている姿やできるようになったこと等を日頃から見付けることで、努力しようとする気持ちを高めるようにしていきたい。